



このコーナーは、上越市の犯罪の傾向や分析結果のほか、市民の皆さんに特に注意していただきたい内容等をお知らせします。

住民パワーで犯罪を抑止！南新町防犯詰所開所から1年

■ 南新町では、昨年駐車車両などに対する器物損壊事件が連続的に発生したことから、町内の防犯部員などが中心となって、団地の倉庫を改修して、昨年7月16日「防犯詰所」を開所しました。

防犯詰所の入口には、防犯のシンボルである青色回転灯が取り付けられたほか、地域の方々の協力で、机、椅子、ポットなどの備品やオレンジのベスト、帽子などが運び込まれ、さながら交番のようになりました。

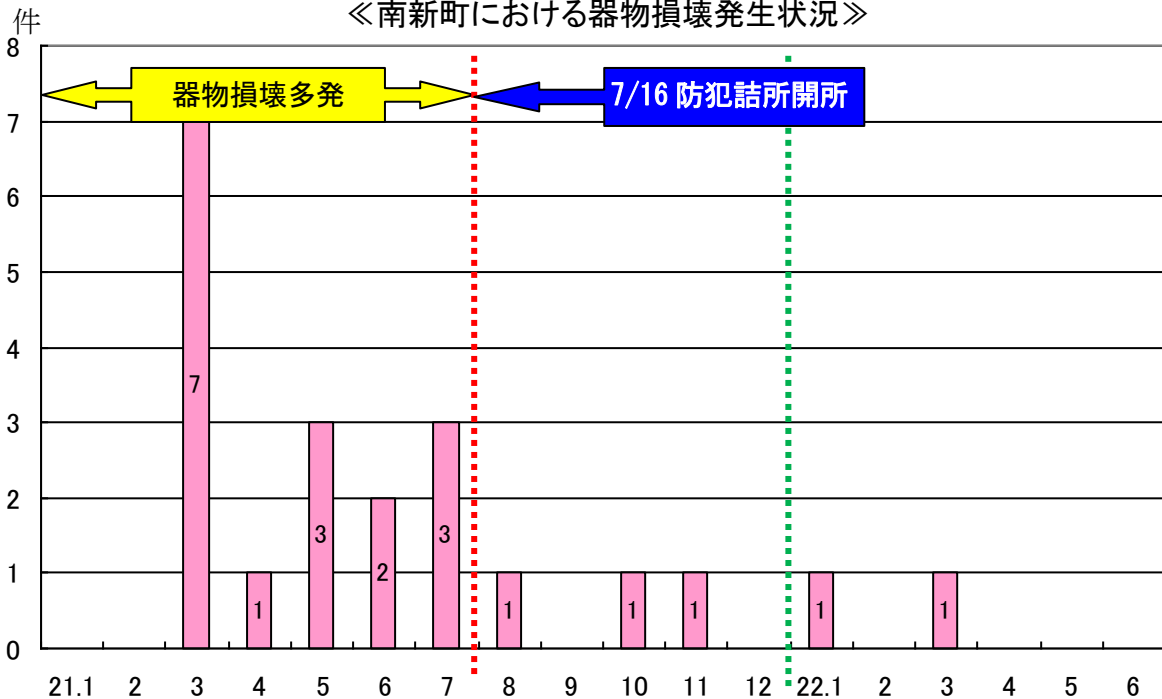
防犯詰所には、朝から防犯部員などが詰め、夜遅くまで町内のパトロールを行いました。



■ 防犯詰所は、住民による自主防犯パトロールの拠点としての役割を果たしたほか、情報交換の場となり、住民同士のみならず、上越警察署の南本町交番の警察官とも緊密な連携を図る場となりました。

■ 防犯詰所は、開所から1年が経過しました。そこで、これまで住民により取り組んできた防犯活動の成果を検証してみました。

《南新町における器物損壊発生状況》



南新町では、平成21年上半期、防犯詰所開所までの約半年間に16件の器物損壊事件が発生していました。

7月16日に防犯詰所を開所した後、自主防犯パトロールを強化するなどした結果、器物損壊事件の発生を年末までの半年では、3件に、今年6月までの半年でも2件に抑えています。

まさに、住民パワーで犯罪を抑止しているという状況が明らかになりました。

■ 地域住民が犯罪抑止に向けて立ち向かう地域防犯力の大きさは、実際にパトロールを実施する方々の直接的な力と同じ地域に住む方々の理解や支援といった間接的な力の総合力で決まります。

南新町では、「地域の安全は自ら守る」という高い自主防犯意識の下、地域住民がみんな協力しながら安全安心な地域づくりに努めています。